

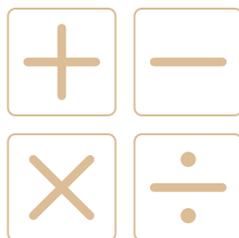
\* ホームページからダウンロードできます

jicpa 会計探究ラボ 🔍



会計で探究的な学びが深まる

# 「会計 × 探究」 授業実践ケースブック



総合・探究の授業に

「会計」の視点を取り入れることで

より実社会に近い

リアルな授業が実現できます



## [ 本教材について ]

本教材は、総合的な学習（探究）の時間の授業に「会計」の視点を無理なく取り入れるための、教員向けの授業ガイドです。「会計を教える」こと自体が目的にならないよう、会計用語は必要最小限にし、できるだけ平易な言い回しで授業づくりを支える構成にしました。

総合的な学習（探究）の時間で会計の視点を扱うとなると、「どこまで、どう扱えばいいの?」と迷うこともあります。本教材では、探究の過程に沿って、扱いやすいデータの例や学習活動のヒントを整理し、身近なテーマから試せるようにしています。授業者が安心して「まず一回やってみる」ための入口としてご活用ください。



# 探究的な学び × 会計リテラシー

## — 会計の視点から未来を構想する —

### 会計リテラシーとは

「会計リテラシー」とは、お金の動き（経済活動）を理解し、より広く社会で活躍していくために必要な会計（記録・報告）の基礎的な素養です。具体的には、現金収支を記録・管理する技術、利益計算の理解などがありますが、最も基礎的な会計リテラシーは、「アカウントビリティ（説明責任）の理解」です。アカウントビリティは、依頼を受けた人（受託者）が自らの行動を記録し、依頼をした人（委託者）に報告する責任を意味しますが、この記録・報告には、誠実、公正、信頼が伴わなければなりません。会計リテラシーを活用することは、自らが発信・活用する情報の信頼性に着目することの重要性に目を向ける契機となるでしょう。

### 総合的な学習（探究）の時間と会計とのつながりについて

総合的な学習（探究）の時間では、日常生活や社会に目を向けて生まれる疑問や関心を出発点に、生徒が自ら課題を設定し、情報を収集して整理・分析し、まとめ・表現します。実社会・実生活の複雑な文脈と自己の在り方生き方を関連付けて問い続ける点に特徴があり、例えば、地域の活性化や観光・産業の振興、商店街の課題解決、環境保全や防災、福祉・共生のまちづくりなど、身近で具体的なテーマを扱い、自治体・企業・地域の人々への聞き取りや現地調査を踏まえて、企画立案や試行、発信まで踏み込んだ取組を行う生徒も少なくありません。こうした取組を行う際には、取組の意義だけでなく、「実現可能性」や「持続可能性」も視野に入れて検討することが欠かせません。会計は、経済活動を数字で記録・報告し、活動を客観的に可視化する手段であり、合理的な意思決定や組織・事業の持続可能性を公正に判断するための基盤となります。し

たがって、探究に会計の視点を取り入れることで、課題の設定では必要性・効率性などの観点から問いを磨き、情報収集では収支や関連データを収集し、整理・分析では費用対効果やリスクも含めて比較・考察し、まとめ・表現では根拠を示して説明する、といった形で探究の各過程を支えることができます。こうして、生徒の提案や実践が「実現可能性」や「持続可能性」の観点から吟味されることで、生徒の探究はより真正（オーセンティック）なものとなります。



### 探究的な学びの視点



### 中学校・高等学校別の探究的な学びの視点と会計の視点

探究的な学びに会計の視点を取り入れた際に期待される、生徒の姿の例です。

<p><b>① 課題の設定</b></p> <p>「どうして？」と疑問に思うことからテーマにしてみよう</p> <p>個人の問題に見えても、実は社会の仕組みなどが原因だと気づき、それを踏まえて、自分なりの課題を設定してみよう</p>	<p><b>② 情報の収集</b></p> <p>地域の人や商店街にインタビューして生の声を集めてみよう</p> <p>仮説に沿って1次・2次情報を使い分け、情報の信頼性を意識してリサーチしてみよう</p>
<p><b>③ 整理・分析</b></p> <p>集めた情報をまずは比較して分かりやすく簡単にまとめてみよう</p> <p>それぞれのメリットとデメリットを並べてみて、一番いい答えを探してみよう</p>	<p><b>④ まとめ・表現</b></p> <p>大事だと気付いたことを、自分の言葉でまとめて発表しよう</p> <p>アンケート結果や統計などの確かな根拠を基にみんなが納得できるような提案に組み立ててみよう</p>

### 「探究的な学び」×「会計リテラシー」の授業で育成される力

「探究的な学び」×「会計リテラシー」によって、以下の力が身に付くことが期待できます。また、指標を用いることで、先生は生徒の姿を具体的に捉えることができ、生徒は自分が身に付けた力を自覚的に捉えることができます。（なお、必ずレベル4に到達しなければならないというのではなく、学校種や発達段階に応じて活用することが期待されます）

カテゴリ	定義	レベル4 (達人)	レベル3 (発展)	レベル2 (標準)	レベル1 (基礎)
① 自分と向き合う力 Character	課題や他者との関係における自分の役割や価値観を理解し、行動や選択を主体的に決める力	社会や将来の生き方と結びつけて深く内省し、学びを構想できる	課題を自分ごととして捉え、必要な行動を選び取る	自分の関心に基づいてテーマや視点を選び、取り組む	与えられた課題に取り組む
② 社会に参画する力 Citizenship	社会の課題や多様な立場・関係性を踏まえ、協働的に取り組む力	持続可能性や多様性を踏まえ、自ら関わり提案・実行できる	関係者と協働し、共に課題解決を図ろうとする	課題や関係者の立場を理解し、意見を取り入れようとする	社会や地域の状況を知っている
③ 協働する力 Collaboration	他者と共通目的に向かって対話し、役割分担しながら成果を生み出す力	他者の強みを生かし、全体を統合してチームを導く	意見の違いを尊重し、より良い成果のために主体的にチームに働きかける	役割を理解し、協力して成果を出そうとする	指示に従って作業できる
④ 根拠を持って伝える力 Communication	集めた情報や会計的な根拠に基づいて、自分の考えを分かりやすく伝える力	多様な立場に配慮しながら、説得力ある発信・提案ができる	会計的・社会的根拠を踏まえ、目的や相手に応じて説明できる	情報の信頼性を理解し、データや情報を使い、筋道を立てて説明する	自分の意見を話すことができる
⑤ 多面的に考える力 Critical Thinking	収集した情報から複数の視点を使って分析・比較し、より良い判断を行う力	社会的・経済的・倫理的視点を統合し、新たな解決策を生み出す	問題点や改善点を発見し、より良い選択肢を考えられる	複数の視点で比較・整理できる	表面的な特徴に気付く
⑥ 価値を生み出す力 Creativity	既存の枠組みに捉われず、新たな価値やアイデアを創造する力	経済性・社会性・創造性を融合し、新しい価値を創造できる	ニーズや根拠を踏まえて独自の企画を生み出す	アイデアを組み合わせて提案できる	課題に対して何か案を出そうとする

「探究的な学び」×「会計リテラシー」を授業で活用する場合、例えば、以下のテーマで実施することが考えられます。次のページから、具体的な授業の流れ・詳細を紹介します！

### 中学校

テーマ 【地域貢献プロジェクト】  
地域貢献×プロスポーツクラブ

◆プロスポーツクラブから学ぶ！  
地域貢献とビジネスの仕組み

スポーツを題材にして、生徒がワクワクしながら会計の力で社会を見る目を養い、地域の未来づくりに実際に関わっていく、そんな探究学習を意図しています。プロスポーツクラブは全国の多くの地域に存在し、地域に根ざした多様な取組を行っています。こうした取組を手がかりに、生徒がクラブをきっかけとして自分たちのまちの課題や魅力に向き合い、まちづくりに参画していく学習は、探究の入口として適しています。さらに、会計の基本概念（費用、収益、データ分析など）は、根拠のある意思決定を支える重要な素養になります。これを活用しながら、見通しを持って試行錯誤し、自らの考えを検証・修正していくことで、探究の過程をより充実させることが期待できます。

### 高等学校

テーマ 【地域活性化プロジェクト】  
地域資源の活用

◆高校生が動けば、地域が変わる！

自分たちが暮らす地域の課題を「自分ごと」として捉え、地域への貢献と愛着を深め、主体的に挑む力を養います。この主体性は、社会で生きていくために不可欠な力です。地域調査や聞き取り、データ収集と分析を通して課題を具体化し、仮説設定と検証を繰り返しながら企画を構築します。その際、会計の視点（原価計算、収支報告）を生かし、費用や収益見込み、採算ラインを数値で検討することで、生徒は実行性の伴う計画を立てることができ、収支に対する責任感も生まれます。学習成果は企画書や収支計画としてまとめ、発表まで行います。これにより、単なる体験で終わらず、課題を分析し、数字で検証しながら地域を良くする具体的な解決策を生み出す力が身に付きます。

# 会計を取り扱う授業案（中学校編）

## 地域貢献プロジェクト 地域貢献×プロスポーツクラブ



### 単元の目標

身近な課題を探究し、データと収支の見通しを手がかりに計画を立てて実践し、結果を検証して改善につなげる力を育む

### 授業のねらい

- ① 地域のまちづくりの現状を経済・意思決定・人権尊重等の視点から捉え、そこから見えてきた課題を解決する方法を探る。
- ② 「市民協働推進条例」や市民総参加の取組等を踏まえ、市の良さと課題を発見し、中学生の視点で多様な他者（地元のプロスポーツクラブ）と協働して発信する活動を通じて、「スポーツを活用した持続可能なまちづくり」の在り方を考える。
- ③ 地域に誇りを持ち、地域に進んで参画しようとする態度を育む。



## 総合的な学習の時間〈35時間想定〉

### 1【4～6月】あつめて、くらべて、見つけ出す（12時間）

#### 第1単元

地元のプロスポーツクラブの選手や担当者の講話やインタビュー、観戦者数等のデータを通して、スポーツと地域社会の関わりや課題を理解する。

例 子どもたちのスポーツ文化を醸成したい、地域のつながりをつくりたい、等

#### 第2単元

##### STEP 1 ▶ 取材を基に、問いを立てる。

例 「観戦する人が増えると、地域の商店街の売上は増えているのかな？」  
「イベントにプロスポーツクラブが関わると、高齢者や子どもも楽しめるのかな？」  
「中学生でも、ファン活動やボランティアで貢献できることはあるのかな？」



##### STEP 2 ▶ 地域を調査し、問いをプロジェクトにつながる課題やアイデアに育てる。

例 「地域の過疎化 → プロスポーツクラブと協働して、なにか地域を盛り上げるイベントはできないかな？」  
「健康づくりに関心が高い人が多い → 健康づくり企画とクラブを組み合わせられるかも」  
「商店街の空き店舗が目立つ → イベントの会場として使えるのでは？」  
「観客は30～40代が中心 → 若年層や高齢者でも楽しめる観戦の工夫が必要では？」

### 2【7～12月】実践から学ぶ「地域貢献プロジェクト」（18時間）

#### 第3単元

##### STEP 3 ▶ プロスポーツクラブと協働した地域貢献プロジェクトを企画する。

自分が経験したことを踏まえて、これから挑戦したい地域貢献の計画と、それを助けてくれる人が誰かを探る。

例 「地域イベント×クラブ、健康づくり×スポーツ、若者定住×観戦文化」等

##### STEP 4 ▶ アウトプット（提案・プレゼン・フィードバック）

行政（市役所の地域振興担当等）、大学教員、プロスポーツクラブ関係者、地域住民にプレゼンして、フィードバックを受ける（複数回行って、実現可能性を高める）。

例 「企画を実現するためには何にどれくらいお金がかかるのかな？」  
「お金がかかる項目としては、会場費や、装飾、広告宣伝費などかな？」  
「企画に賛同して助成や出資をしてくれる人はいるのかな？」



※ 提案・プレゼン用の企画書・収支計画書は、次ページ参照

### 3【1～3月】学びの発信と振り返り（5時間）

#### 第4単元

プロスポーツクラブと社会貢献の関係について考える。  
振り返り・まとめとして、「心の動き」、「自身の試行錯誤」、「価値観の変容」等を言語化する。  
また、プロジェクト全体を振り返り、自分の提案が地域にどんな可能性をもたらすのか、どのような学びが将来につながるかについて考える。

スポーツって、運動のできる人だけのためのものでなくて、みんなのためのものなんだ！

会計は難しいイメージだったけど、収支を計算したら企画の説得力が出て、自分でも実現できそうだと感じた！



### 特色 会計の視点によって企画の実現可能性を高める

#### STEP 1（第2単元）▶ 自由に問いを出す

- ① まず、自由に問いを出す（自由度を大切に）
- ② 問いをたくさん出した後、「STEP 3のプロジェクトにつながるような問い」と「調べてみたいけどプロジェクト化は難しい問い」に分類する

#### STEP 2（第2単元）▶ 調査と分析

アンケート、フィールドワーク、データ収集等を行う中で、**会計情報・人口統計・地域支出・商業データ等を用いた分析**に挑戦する



#### STEP 3（第3単元）▶ プロジェクト

**会計の視点（収支予測、助成金の可能性、持続可能性の評価等）を活用して**、クラブと協働した企画の実現可能性を高めていく



#### STEP 4（第3単元）▶ アウトプット

費用や収入の数字を根拠にしたシミュレーションを行い、「**収支のバランス**」「**費用対効果**」「**資金調達の可能性**」等の観点からもフィードバックを受け、多様な立場の方々の視点を獲得

### 参考 他教科とつながる学びの例（会計の視点を踏まえて）

教科	関連する学習内容	活用できる場面
国語	目的や相手に応じて、理由や根拠を明確にして伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域課題や企画の背景について、事実と意見を整理し、課題構造を読み取る</li> <li>企画の目的や効果について、理由や根拠を示して説明する</li> <li>企画内容や収支の考え方を、相手に分かりやすく説明・提案する</li> </ul>
社会	私たちの生活と経済、国や地方自治体の働き、公共の役割と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域課題を、地域経済や人口構造と関連付けて理解する</li> <li>行政の役割や支援制度を踏まえ、企画の公共性を考える</li> <li>限られた資源をどのように配分するかという視点で企画を検討する</li> </ul>
数学	割合・百分率、比例・反比例、資料の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果や想定来場者数を割合で整理・比較する</li> <li>費用や人数の変化による影響を見通す</li> <li>予算案や簡易的な収支見通しを表やグラフで整理する</li> </ul>
外国語（英語）	スピーチ（プレゼンテーション）	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域やプロスポーツクラブの特徴を英語で簡潔に紹介する</li> <li>企画内容やねらいを短い英語で発信する</li> <li>海外のスポーツや地域貢献の取組事例と比較する</li> </ul>
技術・家庭	製作物の設計・制作、消費生活、持続可能な生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料費・作業時間・安全性を考慮して計画を立てる</li> <li>必要な物品やサービスを価格や品質から比較・選択する</li> <li>継続可能な運営や生活の在り方を検討する</li> </ul>
美術	デザイン・構成、表現・鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画の価値や特徴が伝わるデザインを構想する</li> <li>表現された価値や意図を読み取り、評価する</li> <li>発表資料において、情報を分かりやすく可視化する</li> </ul>
保健体育	健康な生活、運動・スポーツ、協力・集団行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりと地域課題との関係を整理する</li> <li>安全性や効果を踏まえた活動内容を検討する</li> <li>役割分担や協働の在り方を振り返る</li> </ul>

# プロスポーツクラブと連携した地域貢献のための企画書、収支計画書の例

会計の視点で企画実施を考えることで責任が伴い、課題が自分ごとに!

## 企画書



### [1] 企画名

プロスポーツクラブと一緒に、地域の健康をつくろう ～ 健康づくりイベントプロジェクト ～

### [2] 背景・目的

地域には多くの人に親しまれているプロスポーツクラブがあります。クラブでは、選手としての活動だけでなく、「地域貢献」を果たす役割もあることを知りました。そこで地域貢献につながるような、地元のプロスポーツクラブと協働した健康づくりイベントや啓発活動を行うことで、地域の人やファンの方が参加できるイベントを考えました。



何にどのくらいのお金がかかるのかな?

### [3] ターゲット (対象)

- 地域に住む子どもから高齢者までの幅広い世代
- スポーツに関心のある地域住民
- 健康づくりに関心はあるが、行動に移せていない人

### [4] 企画内容

#### ① 健康づくりイベントの実施

プロスポーツクラブ選手・スタッフによる簡単な体操・ストレッチ体験、運動のコツや健康に関するミニ講話。試合会場のイベントブースや公民館の多目的ホールなどで実施する。

#### ② 健康啓発コーナーの設置

健康チェック (姿勢チェック、運動習慣アンケートなど)、健康づくりリーフレットの配布、プロスポーツクラブの活動紹介展示。

#### ◆ 必要な予算の確保

プロスポーツクラブからの協賛金6万円を活動資金とする。



活動資金について協力(協賛)してくれる企業や団体に相談してみよう。

### [5] PR戦略

#### ① 情報発信・広報

商店街や学校内へのポスター掲示、チラシ配布 (商店街・公共施設)、プロスポーツクラブの協力によるSNS発信、生徒による呼びかけ動画・紹介文を学校のHPから発信。

#### ② 会場の工夫

店舗外から中が見えるレイアウトにし、入りやすさを重視する。プロスポーツクラブの写真やユニフォーム展示で注目を集める。

200人参加してくれれば、地域活性化にもつながるし、利益も出せるのでは?

### [6] 期待される効果

- 地域住民が健康づくりを身近に感じるきっかけになる
- 地元地域が「人が集まる場所」として再認識される
- プロスポーツクラブと地域とのつながりが深まる



日本公認会計士協会のHPから、収支計画書のひな形をダウンロードできます。  
※より詳細な手順等は、ひな形をご確認ください。



## 収支計画書

### [1] 準備に関わるコストの計算

項目	ア(数量)	イ(単価)	支出(ア×イ)
① 会場使用料、光熱費			30,000
② 机・椅子・パネル等の備品			15,000
③ ポスター等の宣伝費用			30,000
④ アンケート用紙			2,000
⑤ 文房具			3,000
⑥ 参加者配布物	200	100	20,000
⑦ その他			0
⑧ イベントのために支払うお金の合計 (①～⑦)			100,000

準備コストを基に、参加者数の目標を考え、参加料などの単価設定につなげる

### [2] 収入の予定と実際の計算

#### (1) 予定の収入

項目	ア(数量)	イ(単価)	収入(ア×イ)
① 参加料	200	300	60,000
② 協賛金			60,000
③ イベントにより得られるお金の合計 (①+②)			120,000

#### (2) 実際の収入

項目	ア(数量)	イ(単価)	収入(ア×イ)
① 参加料	180	300	54,000
② 協賛金			60,000
③ イベントにより得られたお金の合計 (①+②)			114,000

### [3] 利益の計算

予定の収入【2】(1) ③ (120,000円) - イベントのために支払うお金の合計【1】⑧ (100,000円) = 予定の利益 (20,000円)

実際の収入【2】(2) ③ (114,000円) - イベントのための支払うお金の合計【1】⑧ (100,000円) = 実際の利益 (14,000円)

予定の利益 (20,000円) と、実際の利益 (14,000円) との差額 6,000円

### [4] 振り返り

予定の利益と実際の利益を比べ、収入と使ったお金に分けて振り返り、グループで共有しよう

参加料を下げているなら、参加者は増えたかな? 上げたら減ったかな?

宣伝は“広く”より“届く相手に”を意識して、ターゲットを絞れば集客が伸びたかも。

# 会計を取り扱う授業案（高等学校編）

## 地域活性化プロジェクト 地域資源の活用

**単元の目標** 社会課題を探究し、データと実践から価値を創出し、地域や未来に生かす力を育む

**授業のねらい**

- ・フードロスの現状とその経済的影響を理解し、課題を“自分ごと”として捉える。
- ・ビジネスを通じて、持続可能な社会の実現と経済的自立の両立を学ぶ。
- ・マーケティングや価格設定、利益管理などの視点を体験的に学び、実社会につながる力を身に付ける。

## 総合的な探究の時間〈35時間想定〉

### 1【4～6月】捨てられる野菜の価値を見つけ出す（10時間）

#### 第1単元

社会課題としてのフードロスに気付くために  
食品ロスや規格外野菜に関する問題意識を共有する。

**例** 「なぜ、日本では食べられる野菜が捨てられるのか？」  
「消費者の綺麗な野菜を選びたいという意識が原因なのか？」  
「見た目よりも安全性や味のほうが大切ではないか？」



#### 第2単元

フードロスの実態と影響を調査し、  
データに基づいて課題を多面的に捉える。

**例** 「どの野菜でロスが多いのか？（例：きゅうり、キャベツなど）」  
「天候や市場価格の変動がロスにどう関係しているのか？」  
「見た目より味を重視する文化は広がる可能性があるか？」  
「他国では規格外野菜を有効活用しているのか？」

#### 仮説設定

「ロスがなければ〇〇円の経済効果が見込めるのでは？」  
「規格外野菜を加工品にすれば地域の雇用も増えるのでは？」



#### 第3単元

調査内容、仮説を基に現場生産者の声を聞き、  
課題のリアルを探る（農家・市場・企業などへのインタビュー計画と実施）。

**例** 「実際にインタビューする中で、ここ最近の気候変動の影響で、規格外になる野菜が増え、〇〇円を超える損失が生じていることが分かった」  
「規格外であっても一生懸命育てている野菜に変わりはないという農家の方の強い想いを感じた」

自分たちが地域の中でできる「小さな一歩」は何か？

### 2【7～11月】実践から学ぶ／販売して届ける「価値ある規格外」（15時間）

#### 第4単元

##### STEP 1 フィールドワーク（販売予定野菜や提携先を模索する）

**例** 「市場・道の駅・直売所を見学し、人気商品や価格帯を調べる」  
「地元企業に訪問し、加工が可能かどうかなど、協力が得られるか確認する」  
「市役所の農政課に相談し、提携可能な農家さんを紹介してもらう」



##### STEP 2 販売準備実践（実際に販売、利益計算を行う）

**例** 「企画書\*を提出し、具体的な販売計画書\*とともに打ち合わせの実施」  
「品質に問題が無いのであれば、形を変えてスープとして販売しては？」  
「100セット作るには2万円かかるから、1個300円で販売すれば利益は確保できそう」

学校の文化祭や道の駅のイベント等を利用して、商品を販売

※「\*」は次ページ参照

### 3【12～3月】学びの発信と振り返り（10時間）

#### 第5単元

実施結果の分析、収支報告を地域の方々に発表し、  
継続可能な商品・運営の仕組みを提案する。  
活動を通して得られた学びを整理し、  
将来の自分の進路や学びに  
どう生かすかをまとめる。

課題を自分ごとにする力が、  
進路選びに役立つと思った。  
大学でもっと経営の勉強をしたい!!



お金とモノの流れを知って、  
社会とのつながりを実感。  
お金の流れが見えると  
社会の仕組みも分かるね!



#### 参考 他教科や部活動、行事とつながる学びの例（会計の視点を踏まえて）

教科・科目名	関連する学習内容	活用できる場面
地理総合	持続可能な社会と地域の課題、食糧問題と地産地消	規格外野菜の発生要因（地形・気候）と地域農業の現状分析
公共	主として経済に関わる事項	資金繰りと収支計算 実施結果の分析、収支報告
数学 IA	データの分析、場合の数と確率	食品廃棄に伴う損害額の推計 売上と利益のグラフ分析・損益分岐点の計算
家庭基礎	消費者としての自立、持続可能な暮らしと食生活	賞味期限・保存法・栄養価の視点からの提案 家庭でできるロス削減行動を商品に生かす（レシピ付き販売等）
国語	情報を正確に読み取る、自分の考えを論理的に表現	インタビュー内容の要約と分析 成果報告やプレゼン原稿の作成

部活・学校行事	探究との関連・活用場面	期待される効果
美術部	・パッケージ・ポスター・ロゴ製作 ・販売ブースの装飾・演出	・部活動の1つの目標となり、生徒のモチベーション向上につながる
報道部	・現地取材・活動記録の撮影 ・販売後の新聞記事作成	・実際の現地や企業の方を取材することでよりリアルな報道につながる
職業講話	・食品ロス関連の起業家・農業関係者を招いた講話 ・持続可能な仕事・働き方との接続	・探究テーマと職業・社会課題との関連付け
文化祭	・規格外野菜を使った販売・展示・啓発 ・各班による商品開発と売上管理	・実践的な販売体験を通して企画・経営を学ぶ

# 文化祭で販売するための企画書、販売計画書の例

会計の視点で企画実施を考えることで責任が伴い、課題が自分ごとに!

## 企画書

### [1] 企画名

規格外の“おいしさ”を届ける ～ベジタブルセットでフードロス削減～



### [2] 背景・目的

私たちは、見た目が悪い、形が不ぞろいという理由で市場に出回らない「規格外野菜」が大量に廃棄されていることを知り、これを削減するための取り組みとして、ベジタブルセットの販売を企画しました。

フードロス問題を“自分ごと”として捉え、消費者の意識を変え、持続可能な社会に貢献することを目的とします。

### [3] ターゲット (対象)

文化祭を訪れる中高生、保護者、教職員



ターゲットをしぼり込むと、どんな商品が良いか考えやすいね。

### [4] 企画内容 (商品・サービスの概要)

- 商品名: ベジタブルセット / もったいない野菜スープ (さつまいもスープ) レシピ付
- 内容物: 旬の規格外野菜詰め合わせ + 簡単レシピカード
- 価格設定: 300円 (原価 200円 + 利益 100円)
- 販売個数: 100セットを販売予定
- 特徴: 栄養価はそのまま! 食べて応援! 環境にやさしい選択

中学生に販売するのならあまり高い価格だと買ってもらえないよね。  
(販売計画書の経費などの計算結果を踏まえ価格は決定する)

販売するために使ったお金が2万円で100セット作る予定だから1個あたりの原価は200円になるね。

### [5] 販売方法・PR戦略

- 文化祭で1日限定販売 (10:00~13:00)
- 手作りポスター / POP 掲示
- SNS告知 (学校アカウントで事前投稿)
- ブース装飾に野菜モチーフや写真展示



中学生や高校生がよく使うSNSで告知しないとみてくれないよね。

### [6] 期待される効果

- 消費者のフードロスへの意識変容
- 「見た目ですてない」文化の発信

日本公認会計士協会のHPから、販売計画書のひな形をダウンロードできます。  
※より詳細な手順等は、ひな形をご確認ください。



## 販売計画書

販売計画書を作成し、販売価格、数量等を企画書にも記載することで、具体的な計画を提案。

### [1] 準備に関わるコストの計算

① 野菜の仕入れ個数	200 個
② 野菜の仕入れ単価	80 円
③ 野菜の仕入れコスト (①×②)	16,000 円
④ 教室の装飾に使用したお金など	4,000 円
⑤ 販売するために使ったお金の合計 (③+④)	20,000 円

### [2] 売上の予算と実際の計算

① 当日の予定販売個数	100 セット
② 1個当たりの予定販売価格	300 円
③ 予定売上高 (①×②)	30,000 円
④ 当日の実際販売個数	90 セット
⑤ 1個当たりの実際販売価格	300 円
⑥ 実際売上高 (④×⑤)	27,000 円

仕入コストと予算売上を計算することで、販売の見通しと数値に責任を持たせる。



### [3] 利益の計算

予定の売上高【2】③ (30,000円) - 販売するために使ったお金の合計【1】⑤ (20,000円)  
= 予定の利益 (10,000円)

実際の売上高【2】⑥ (27,000円) - 販売するために使ったお金の合計【1】⑤ (20,000円)  
= 実際の利益 (7,000円)

予定の利益 (10,000円) と、実際の利益 (7,000円) との差額 3,000円

### [4] 振り返り

予定と実際を比較して、上手くいったこと、いかなかったことを挙げて、グループで共有しよう

その場で食べられる商品だったらもっと売れたかも。

毎年1,000人くらい来場するから、100セットは売れると思ったんだけど...



# 実践例の紹介 中学校編

実際の総合的な学習(探究)の時間に  
会計の視点を取り入れた授業実践を  
紹介します!

## 基本情報

- 実施校 / 岡崎市立竜海中学校 ●授業者 / 右左美裕一先生
- 実施学年 / 1年生 ●実施期間 / 1年生4月～3月

授業のテーマ **やわらか頭で世界を見直そう**

授業のねらい 世の中を多面的・多角的に見直し、未来を見通す「目」を育てることで、未来に向かって、自信を持って一歩踏み出せるような生徒を育成する。

## 単元全体の流れ(全体のスケジュール)

# 総合的な学習の時間

●4月: ◆ガイダンス ◆事前アンケート ◆コンセンサスゲーム

●5月: ◆さまざまな思考法(垂直思考・水平思考)

新聞紙のさまざまな活用法を考えよう

◆金融教育① / お金持ちになるためには  
税金、資産運用(株式投資体験)、節約・節税について

●6月: ◆金融教育② / 一人暮らしに必要なお金とは

家計管理(収入と支出)について

◆金融教育③ / 応援される会社とは

ものの値段の決め方、企業価値、株式会社とは、企業の社会貢献について

●7月: ◆金融教育④ / 魅力ある会社を企画しよう

メインとなる商品やサービス決め、心をつかむキャッチフレーズとは、サービスの適正な価格設定、どのような形で社会貢献できるか

●9月: ◆金融教育⑤ / 会社の魅力をプレゼンテーションしよう

学級審査会の準備

●10月: 学級審査会

●11月: ◆金融教育⑥ / より良い会社にするためには

**商品や価格はどのように  
決めればよいだろうか(会計の役割・必要性)**

◆学級審査会の準備

●12月: ◆学級審査会

会計専門家からのアドバイス

●1月: ◆キャリア教育① / 経営者の立場から考えよう

スキー実習(スキー場で働く人々)

●2～3月: ◆キャリア教育②

◆キャリア教育③ /

来年度の職場体験学習に向けての準備

R7.11.4⑤追加資料 ※すべて計算機使用可 1年 組 番 ( )																																																																													
A パン屋を経営するにあたって必要な諸経費																																																																													
●パン1個あたりの材料費	パン1個あたりの費用(40個売ると想定)																																																																												
<table border="1"> <tr><th>材料</th><th>金額</th></tr> <tr><td>小麦粉</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>強力粉</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>塩</td><td>¥10</td></tr> <tr><td>ドライ酵母</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>卵</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>バター</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>砂糖</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>ココア</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>チョコ</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>クリーム</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>ココア</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>あんこ</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>りんご</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>チーズ</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>ベーコン</td><td>¥30</td></tr> <tr><td>ソーセージ</td><td>¥50</td></tr> <tr><td>トマト</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>合計</td><td>¥440</td></tr> </table>	材料	金額	小麦粉	¥15	強力粉	¥15	塩	¥10	ドライ酵母	¥15	卵	¥15	バター	¥15	砂糖	¥15	ココア	¥15	チョコ	¥15	クリーム	¥15	ココア	¥15	あんこ	¥15	りんご	¥15	チーズ	¥15	ベーコン	¥30	ソーセージ	¥50	トマト	¥15	合計	¥440	<table border="1"> <tr><th>材料</th><th>金額</th></tr> <tr><td>小麦粉</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>強力粉</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>塩</td><td>¥10</td></tr> <tr><td>ドライ酵母</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>卵</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>バター</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>砂糖</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>ココア</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>チョコ</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>クリーム</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>ココア</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>あんこ</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>りんご</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>チーズ</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>ベーコン</td><td>¥30</td></tr> <tr><td>ソーセージ</td><td>¥50</td></tr> <tr><td>トマト</td><td>¥15</td></tr> <tr><td>合計</td><td>¥440</td></tr> </table>	材料	金額	小麦粉	¥15	強力粉	¥15	塩	¥10	ドライ酵母	¥15	卵	¥15	バター	¥15	砂糖	¥15	ココア	¥15	チョコ	¥15	クリーム	¥15	ココア	¥15	あんこ	¥15	りんご	¥15	チーズ	¥15	ベーコン	¥30	ソーセージ	¥50	トマト	¥15	合計	¥440
材料	金額																																																																												
小麦粉	¥15																																																																												
強力粉	¥15																																																																												
塩	¥10																																																																												
ドライ酵母	¥15																																																																												
卵	¥15																																																																												
バター	¥15																																																																												
砂糖	¥15																																																																												
ココア	¥15																																																																												
チョコ	¥15																																																																												
クリーム	¥15																																																																												
ココア	¥15																																																																												
あんこ	¥15																																																																												
りんご	¥15																																																																												
チーズ	¥15																																																																												
ベーコン	¥30																																																																												
ソーセージ	¥50																																																																												
トマト	¥15																																																																												
合計	¥440																																																																												
材料	金額																																																																												
小麦粉	¥15																																																																												
強力粉	¥15																																																																												
塩	¥10																																																																												
ドライ酵母	¥15																																																																												
卵	¥15																																																																												
バター	¥15																																																																												
砂糖	¥15																																																																												
ココア	¥15																																																																												
チョコ	¥15																																																																												
クリーム	¥15																																																																												
ココア	¥15																																																																												
あんこ	¥15																																																																												
りんご	¥15																																																																												
チーズ	¥15																																																																												
ベーコン	¥30																																																																												
ソーセージ	¥50																																																																												
トマト	¥15																																																																												
合計	¥440																																																																												
●固定費	販売価格1個 ¥																																																																												
- 1日あたりの人件費	¥4400																																																																												
- 1日あたりの水道光熱費	¥800																																																																												
- 1日あたりの家賃	¥800																																																																												
	※会計＝販売価格と利益は0円となり、自分の給料や雑費が払えなくなります。																																																																												
B 利益計算表(今日の損益計算書)(単位:円)																																																																													
売上高	① 1個あたりの価格 × 販売数																																																																												
材料費	② 1個あたりの材料費合計 × 販売数																																																																												
人件費	③ ② + 人件費 4400 + 水道光熱費 800 + 家賃 800																																																																												
水道光熱費	④ ①(売上高) - ③(費用合計) = 利益(利益)																																																																												
家賃	( ) 円 - ( ) 円 = ( ) 円																																																																												
費用合計	( ) 円 - ( ) 円 = ( ) 円																																																																												
利益(利益)	( ) 円 - ( ) 円 = ( ) 円																																																																												

会計の授業ワークシート(損益計算表)

※上記のワークシートは、右記の日本公認会計士協会のHPからダウンロードできます。



## 本授業および取組内容

### ◎株式会社の仕組みの学習、起業体験(7～10月)

学級をグループに分け、応援される(投資してもらえる)会社を目標に事業計画を立てた。「対象(ターゲット)」「サービスや商品の特徴」「価格(料金)」「心をつかむキャッチフレーズ」「社会貢献」などをひな形に沿って考えた。学級審査会にて会社の紹介や魅力の発表を行い、応援したい会社に投資(相互投票)をした。

### ◎学年審査会に向けての準備(10～11月) (会計を取り入れた授業)

学級審査会後、学級の優れた企業を学年に向けて紹介する学年審査会を行うことを伝えた。学年審査会で最優秀賞を獲得するため、各学級で戦略的に2社を選出した。

11月、学年審査会に向けて、会計を取り入れた授業を行った。学級審査会での各グループの価格設定は、市場価格を参考に、「自分が買うなら、もっと安くしてほしい」といった自身の願望を基にした、根拠の薄いものであった。そこで、「原価率」という概念を、クイズを通して紹介した。商品を作るのに必要な原価(材料費)は想像していたよりも低いという事実を知る。それを受け、世の中の商品の価格設定に対し、「大人の闇」「ぼったくり」であるといった批判的な感情を持つ。続いて、架空のパン屋を経営する、シミュレーションを行った。ワークシートにある「損益計算表」に穴埋めをしていく形で、利益を計算していく。その過程で、原価である「材料費」とは別に、「家賃」「人件費」「水道光熱費」などの固定費が必要になることに気付く。また、売上は店側がコントロールできるものではないため、売れ残るリスクも考慮に加える。1日に売れるであろう販売個数と、そこから得られる利益のバランスから価格設定をすることで、その難しさを体感した。ようやく捻出した利益から、さらに税金や消耗品費、広告宣伝費などが上乗せされることを知らされ、そこで世の中の価格設定の妥当性に気付くことができた。

### ◎学年審査会(12月) (説得力のある価格設定、事業計画)

体育館にて学年審査会を実施した。この日を迎えるにあたって、各学級で損益計算表を活用して、根拠ある価格設定を行った。また、学級によっては「初期費用としては〇〇万円必要」「借金を毎月〇〇万円ずつ返済することで、△△年後に黒字になる」「1人〇〇円で、1日△△人の来場が予想されるので、1年の利益は……」といった具体的な説明がなされた。広告費を削減するために2社をコラボさせたり、車両に広告を貼り付けるなど業務提携をしたりする工夫も見られた。また、ゲスト審査員に日本公認会計士協会の方をお招きし、プロの視点からご助言いただくことで、より視野を広げることができた。



学年審査会の様子

## 生徒の感想

物売るの簡単ではないと思いました。利益がたくさん出たとしても、そこから水道光熱費や人件費を引くと少なくなってしまうことが分かりました。高すぎると買ってもらえないし、安すぎてもお店の経営に影響が出てしまうから、それも考えて価格を決めないといけないと思いました。



## 授業者からのメッセージ

授業をする前までは、「既存のサービスや商品」の価格を参考に、「自分の希望」を交えた曖昧な価格設定をしていました。授業を通して「原価率」や「損益計算」の概念を知ること、計画に現実味が増していきました。「価格は安ければ安いほどよい」という価値観を更新する契機となりました。



# 実践例の紹介 高等学校編

## 基本情報

- 実施校 / 富士市立高等学校 ●授業者 / 内野真秀先生 ●実施学年 / 2～3年生
- 実施期間 / 2年生4月～3年生2月

## 授業のテーマ 市役所プラン「竹灯籠プロジェクト」

授業のねらい 岳南電車の利用促進と放置竹林の有効活用をテーマに、「会計の視点」と「探究のプロセス」を取り入れた実践型学習を実施。地域の資源や課題への関心を高め、主体的に課題に取り組む力、他者と協働して企画を立案する力、収支に対する責任感を育成する。

## ■ 単元全体の流れ (全体のスケジュール)

### 総合的な探究の時間

#### 2年前期 地域資源の価値を見つけ、自分たちにできることを考える

「市役所プラン」の一環として、岳南電車の利用促進と放置竹林の有効活用をテーマに、「竹灯籠プロジェクト」を立案する。

- 4月：富士市の課題「交通」について、富士市役所職員から現状を聞き、自分たちで解決したい内容を検討する。
- 5月：竹灯籠を作り、駅に飾ったら利用促進につながるという仮説を基に岳南電車利用促進を考える。
- 6～8月：実際に地域を調査して関係者の声を聞き、竹灯籠の試作品を作成する。
- 9月：企画案「竹灯籠ワークショップと竹灯籠の展示」を学識者、市役所職員等に発表し、助言をもらう。



#### 会計の視点を入れて再度検討

#### 2年後期～3年 実現に向けて地域と協働しながらコンセンサスを得る

現実的な計画を立てる中で、必要な資源や協力してくれる企業等にアプローチする。

- 10～12月：Fiil-netと竹灯籠に関する具体的な打ち合わせ。
- 3月：岳南電車株式会社と連携して、駅の使用や展示場所を確保。
- 4～5月：今までの内容を基に、あらたなスケジュールを作成。
- 7～8月：「若者チャレンジファンドしずおか」に企画を申請し、資金10万円を確保。
- 9月：竹灯籠の竹のデザインをデジタル部にお願いし、デザインが決定。
- 10月：富士市役所林政課と連携して、竹林を紹介してもらう。
- 12月：Fiil-net、日本物流株式会社と連携して竹の伐採、試作品を作成。
- 1月：ワークショップ用の広告を小学校に配布、富士市のSNSでも宣伝を行う。
- 2月：竹灯籠ワークショップと竹灯籠の展示を実施。



## 本授業および取組内容

### ◎ 本校の究タイム (総合的な探究の時間) について

本校では、3年間の探究学習を「スキル習得、ディベート、市役所プラン、テーマ探究、自分スピーチ」の5単元に分け段階的に実施する。中でも2年次前期に実施する富士市の課題を解決する「市役所プラン」では、行政や大学、地域住民等と連携し、高校生と地域が結びつく協働的な学びを実現している。

### ◎ 本取組の概要

本プロジェクトは、富士市の交通課題を起点に地域資源の価値創出を目指した。2年次前期の「市役所プラン」の単元で、市役所職員から地域における自動車依存と移動の課題について説明を受けた生徒たちは、通学でも利用する岳南電車に注目した。利用者数減少という課題に対し、地域の竹を活用した竹灯籠を作成し、駅に展示する企画を立案した。この企画について現地調査や関係者へのヒアリング、試作を重ね、市役所職員や学識者から実現性や継続性について助言を受けた。助言を受け、市役所プランの単元が終了した後も自主的に活動を継続し、3年次には、行政や企業と連携し、生徒主体で準備を進め、竹灯籠ワークショップと展示を実現した。

竹灯籠ワークショップは、小学生の親子を対象に、高校生が講師となって実施した。生徒が用意した竹に幾何学模様の図面を貼り、ドリルで穴を開けて竹灯籠を制作する活動であり、その工程を生徒が指導した。竹の調達から当日の運営まで主体的に担い、完成作品はLEDで点灯して岳南電車の駅に展示し、魅力向上と地域への関心喚起を図った。

### ◎ 関わる専門家・連携先

岳南電車株式会社、Fiil-net、日本物流株式会社、学識者、若者チャレンジファンドしずおか、富士市役所林政課

### ◎ 会計の視点について

「市役所プラン」は、全生徒がテーマごとにグループで活動を行うが、2年次9月の最終発表では提案にとどまり、具体的な実効性に乏しい内容も混在していた。この点については、発表に関わった学識者や行政、地域関係者からも課題として指摘されてきた。本プロジェクトも、当初はお金を要しない形で企画を考えていたが、行き詰まってしまったため、提案を実現につなげるための手立てとして、会計の視点を新たに導入した。指導にあたっては、実社会で用いられている企画書や収支計画書の様式を基にしたフォーマットを提示し、金額が企画の信頼性や責任と直結することを意識させた。その結果、企画は単なるアイデアの提示ではなく、資金調達を含めた現実的な計画として検討されるようになった。作成した企画書、収支計画書を基に、「若者チャレンジファンドしずおか」へ資金申請に至ったことは、会計の視点を意識したことで功を奏した結果である。その過程で、生徒は自分たちだけで企画を実現することの難しさを実感し、校内でボランティアを募る等周囲を巻き込む行動へと変容した。会計を扱うことで、「高校生の企画だから協力してもらえ」という意識から、自らの考えと行動で信頼を得ようとする姿勢へと成長が見られた。

## ■ 生徒の感想

最初に企画を提案したときは、実現できるかどうか分かりませんでした。しかし、実際に資金計画や竹の調達方法などを具体的な数値やスケジュールに落とし込むことで、協力してくださる方々にも論理的に説明できるようになり、最終的に実行に移すことができました。多くの方々と一緒に企画を実行できたことをうれしく思います。



3年総合探究科：保科凜花さん

## ■ 授業者からのメッセージ

会計の視点を取り入れることで、やるべきことが明確になり、それまでぼんやりとしていた企画が、意思を持って動き出すようになりました。それに伴い、生徒の企画に対する真剣さが伝わり、多くの方々に協力していただくことができました。

授業者：内野真秀先生



## 総監修者・日本公認会計士協会からのメッセージ

### 加藤 智

愛知淑徳大学 教育学部 准教授・文部科学省 教科調査官

近年はまさに予測困難な時代を迎えようとしています。このような時代にあって、生徒たちには、さまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、さまざまな情報を見極め、再構成して新たな価値につなげていくことなどが一層求められます。こうした資質・能力は、実社会・実生活の課題に向き合い、探究の過程を通して育成されるものであり、その中核を担うのが総合的な学習（探究）の時間です。

その一方で、総合的な学習（探究）の時間の進め方に悩んでいる先生もいらっしゃるのではないのでしょうか。実社会・実生活の課題に向き合っているにもかかわらず、「思い」や「アイデア」にとどまり、根拠に基づく吟味や検証が十分でないまま終わって

しまうことがあります。また、取組は行われていても、特定の人の善意やボランティア的な負担に支えられ、長期的には続けにくい形になっていることもあります。こうした場面で、事実やデータに立ち返り、成果と課題を可視化し、根拠に基づく企画や提案へとつなげていく手がかりとして、「会計」は大きな力になります。

本教材は、生徒が自らの企画や提案を、探究を通して磨いていく学びを生み出すヒントとなるものです。先生方の教材研究の参考としてご活用いただき、各校・各地域の実態に即した探究の充実につなげていただければ幸いです。



### 古谷 大二郎

日本公認会計士協会 常務理事

会計とは、経済活動の結果を記録し、関係者に報告することであり、単なる数字の集計ではなく、組織や個人の活動を客観的に可視化し、企業経営や家計管理などのあらゆる場面における合理的な意思決定を支える役割を持っています。

例えば、社会のルールとして提供されている会計情報は、企業の活動や社会的責任について考察する際に信頼性あるデータとして扱うことができるでしょう。また、生徒自身の活動を数字に表すことは、企画検討の根拠や、他者と合意形成を図る際の共通言語となり得ます。

会計を知識として学ぶことも重要ですが、私たちは、総合探究学習での会計リテラシーの活用は、生徒の学びの深まりを助けるだけでなく、生きる力の育成にもつながると考え、本教材を作成いたしました。

本教材では、総合的な学習（探究）の時間における会計リテラシーの活用について、先生方が授業で扱いやすい事例をご紹介します。会計リテラシーが、生徒の豊かな学びの一助となりましたら幸いです。



## 日本公認会計士協会が提供する「会計教育」ツールのご紹介

### 「会計情報の活用」授業支援パッケージ 【中学校編】 【高等学校編】



### 「会計情報の活用」 教員のための 授業実践ガイドブック



### 授業実践のポイントに ついての解説動画



### 学校教育支援サイト 「会計探究ラボ」

- ◆ 各種教材データや授業実践レポートなどはこちら

<https://www.kaikeitankyulab.jp/>



## 教材編集委員会

- ◆ 総監修：加藤 智 / 愛知淑徳大学 教育学部 准教授・文部科学省 教科調査官
- ◆ 制作協力：辻 陽介 / 静岡県総合教育センター 教育主査  
滝 陽介 / 静岡県富士市教育委員会 富士市立高等学校 指導主事  
右左美 裕一 / 愛知県岡崎市立竜海中学校 教諭

本教材に関するお問い合わせ先

日本公認会計士協会  
会計教育担当

〒102-8264 東京都千代田区九段南4-4-1 公認会計士会館  
メールアドレス：koyoiku@sec.jicpa.or.jp

信頼の力を未来へ  
**jicpa**

日本公認会計士協会